

## 67 アジサシ

(チドリ目)

*Sterna hirundo*

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク:

### 種の概要

アフリカ北西部からヨーロッパ、アジア、北アメリカ北東部に広く繁殖し、繁殖後はアフリカからアジア南部、オーストラリア、南アメリカなどの沿岸に渡り、越冬する。日本では、春秋の渡りの時期に本州、九州、沖縄などに渡来する。海上、海岸、河口、広い河川、湖沼に生息する。主に魚類を採食する。

### 国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、粟島、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、南鳥島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島、オホーツク海、日本海北部、日本海南部、太平洋北日本沖、太平洋本州中部沖、太平洋南日本沖、伊豆諸島沖、東シナ海、南西諸島沖



写真提供：松重和太

(性別：不明)

### 県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、★芦屋市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、三木市、高砂市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、稲美町、新温泉町

### 主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐら休 ら息 環境・	局的 繁殖	希 少
	○								

### 県内における生息状況およびその他特記事項

要注目ランクから要調査ランクへ変更。

県内では主として4-6月と8-11月に生息する。1960年代には瀬戸内の海岸近くで、1,000羽から5,000羽の大群が記録され、夏期にも少数が見られた。その後、次第に減少し、近年では10-100羽程の群れが県南部で見られる程度で、最近はさらに減少している。県北部でも記録があるが少なく、情報不足のため、要調査ランクへ変更した。

### 保護上の留意点

餌となる魚類の生育環境である藻場や干潟の保全および再生が重要。